

第3回 霧島市中小零細企業振興会議 要旨

開催日時	平成28年4月28日(木) 10:00~11:30
開催場所	霧島市役所 7階 701・702会議室
出席委員	前田 義朗 会長、小川 貴弘 副会長、今川 渉 委員、大山 隆弘 委員、 稲垣 知成 委員、山之内 誠 委員、瀬戸 雄作 委員、今給黎 正己 委員、 重久 真一 委員、津田和 亨 委員、山田 まゆみ 委員、前田 美千代 委員、 西重 保 委員
事務局	池田 商工観光部長、谷口 商工振興課長、 野崎 主幹兼商工観光政策グループ長、山中 主任主事

○委員委嘱・副会長選出

委員2名の欠員が生じたため、前任者の残任期間を任期として新たに2名の委員を委嘱。
うち1名が副会長であったため、委員互選により、新たに副会長を選出

○議題

- (1) 第2回会議概要の報告【議事要旨】
- (2) 平成27年度の市事業実績、平成28年度国・県・市事業の状況説明
- (3) 事業者支援についての課題、事業者が抱える問題点、支援ニーズ等に対する対応策について
- (4) 中小零細事業者に対する経営課題等に関するアンケート調査項目

○議事

- (1) 第2回会議概要の報告【議事要旨】
事務局から資料2に基づき報告し、今後の進め方について、再度確認。
・第2回会議概要の報告【議事要旨】について委員から補足等
京セラ株式会社の霧島市における下請け取引先事業者数の報告
- (2) 平成27年度の市事業実績、平成28年度国・県・市事業の状況について、資料3に基づいて事務局より説明を行い、支援機関等の各委員が、平成28年度事業への取り組み状況報告や事業案内を行った。(霧島商工会議所、霧島市商工会、ハローワーク国分、日本政策金融公庫、上野原ビジネスプラザ)
- (3) 事業者支援についての課題、事業者が抱える問題点、支援ニーズ等に対する対応策(資料4)について、基本方針ごとに設定したキーワードに沿って意見を求めた。各委員からの意見の概要については以下のとおり。

【「既存施策の周知」の対応策】

- ・ 商工会議所、商工会会員であれば、定期的な補助制度の案内で知る機会を得やすく、普段の相談の中でそれぞれの事業所にあった補助事業の活用方法などの案内をしてもらえる。非会員の場合、会員よりも補助制度などを知り得る機会が少ない。また、知り得た情報の中にも、似たような制度があり、使い方がわからないことも多く、どの事業に当てはまるのか分かりにくい。
- ・ 各種補助事業等の利用対象となりうる各種同業者の組合等へ、その団体等に適した助成制度の案内をする。
- ・ 支援団体と企業、企業と企業間等で様々な助成制度を広げるネットワークの構築。
- ・ 各事業者においては、インターネットやメールを使えることは必須となってきたように感じる。そのような中、情報は溢れてはいるが、どこから収集してよいかわからない方も多し。施策の周知としては、情報を発信する手法として、霧島市でも市内の中小企業者向けのサイト（ポータルサイト）で、霧島市をはじめ、その他機関の様々な施策、助成制度を紹介するなどの取り組みをしてはどうか。そして登録してもらった事業所へはメーリングで助成事業等の情報提供する仕組みを作ってはどうか。情報発信の手法の一本化がでたらよい。

【「支援団体同士の連携」の対応策】

- ・ 事業者ニーズが多種多様になってきていて、ひとつの機関で各相談者のすべてのニーズに応えていくのは難しい面もある。支援機関同士が、どのような支援をし、相談内容に応じてどこに引き継げばよいのか、お互いに認識し、それぞれの得意分野を活かす必要がある。ワンストップの相談窓口の明確化も必要である。
- ・ よろず支援拠点（中小企業・小規模事業者のための経営相談所）の設置をしてはどうか。

(4) 中小零細事業者に対する経営課題等に関するアンケート調査の項目について資料5をもとに説明。委員からの意見はなし。

○その他

熊本地震に係るセーフティネット4号保証について資料6をもとに説明。

○今後の対応等

会議で出た意見については、事務局でシート等に整理して、次回までに再度お示しする。
次回の会議 6 月の下旬から 7 月の上旬で予定。

○会議資料

- ・(資料 1) 第 3 回霧島市中小零細企業振興会議 会次第
- ・(資料 2) 第 2 回霧島市中小零細企業振興会議 議事要旨
- ・(資料 3) 平成 27 年度の市事業実績、平成 28 年度国・県・市事業概要等
- ・(資料 4) 市の基本方針に対する現状の整理と対応策についての検討シート
- ・(資料 5) 中小零細事業者に対する経営課題等に関するアンケート調査項目 (案)
- ・(資料 6) セーフティネット保証制度の概要